

外観



運河である堀川に面し、3面窓として自然光を導き、熱田神宮を一望できる新本社。東海・東南海地震に備え、建築構造はもとより、自社ビル内(6F)に非常用電源を設けるなど、高度な防災配慮を図っている。

女性トイレ 大便器ブース



大便器はパブリック向けウォシュレット一体形便器を採用。停電時でも利用することができることも機器選定の基準のひとつとしている。

男性トイレ 大便器ブース



男女トイレそれぞれに、L型およびはね上げ式手すりを設置したひろびろブースを設けている。

体育館



3Fに設けられた体育館は、災害時には、700人収容可能な避難場所となる。従業員だけでなく、地域の人々に一時避難所として開放することも想定し、熱田消防署と合同で避難訓練を実施している。

女性トイレ 洗面コーナー



モノトーンの落ち着いた空間。停電時に備え、自己発電タイプ(電源不要)の自動水栓を採用している。女性用トイレには、洗面コーナーに連続させて、パウダーコーナーを設けている。

小便器コーナー



自動洗浄機能付きの壁掛式低リップタイプの小便器を採用。1ヶ所手すりを設置している。

多機能トイレ



エントランスがある2Fに、多機能トイレを1ヶ所設けている。車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト多機能トイレバックを採用している。

更衣室 大便器ブース



更衣室には男女それぞれ1ヶ所ずつ大便器ブースを設けている。大便器はパブリックコンパクト便器・タンク式を採用。すべてにウォシュレットを設置している。

建築概要

名 称	愛知時計電機株式会社 本社ビル
所 在 地	愛知県名古屋市熱田区千年1-2-70
施 主	愛知時計電機株式会社
設 計	株式会社日建設計
施 工	清水建設株式会社
竣 工 年 月	2013年3月

更衣室 大浴場



男女それぞれの更衣室に大浴場を設けている。普段は工場勤務の従業員が利用する施設であるが、災害時には避難してきた方が利用することも想定している。

更衣室 洗面コーナー



脱衣所のスペースに、洗面コーナーを設けている。洗面器はコンパクトな壁掛タイプで、水じまいがよく節水効果も図れる壁付きの自動水栓を採用。

水まわりの特長

<建物の特徴>
「愛知時計電機」は、1898年創業、当時の時計製造で培った『精密加工技術』や基盤となる『流体計測技術』をコア技術に据えて、精密計測機器およびシステムのメーカーとして事業を展開。創立115年記念事業の一環として、本社工場内北側に新たに本社ビルを建設した。東海・東南海地震および津波の到来に備え、2Fまでは鉄骨鉄筋コンクリート造、3F以上は外周ブレース鉄骨造とし、全職員を一時収容可能な体育館を3Fに設置。同体育館は非常時、地域住民の一時避難所として開放することも想定し、熱田消防署・地域住民との合同訓練も実施している。また、堀川に面し、熱田神宮を望む美しい建物は、名古屋市の「まちなみデザイン貢献賞」を受賞している。

<水まわりの特長>
水まわりも災害に備えて計画。機器の選定も、停電時でも使用できるよう、大便器・自動水栓は、自己発電タイプのものを採用している。また、車いす使用者やオストメイトの方が利用できる多機能トイレを設置。さらに従業員更衣室に設けられた大浴場は、従業員の日々のワーキング環境の向上はもちろんのこと、体育館が避難所となった際に活用されることも想定されている。ほかにも、女性トイレに個別鏡を設置したスタンディングタイプのパウダーコーナーを設置、女性ワーカーへの快適な使い勝手も配慮されている。